



令和 7 年 4 月 22 日

コンパクトシティってなあに？皆さんの暮らしに関係の深いコンパクトシティについて
都市計画の研究者が YouTube で分かりやすく解説

◆発表のポイント

- ・全国で実施されているコンパクトシティ政策（立地適正化計画）は市民の暮らしに密接に関係するものでありながら、適切に理解されていない場合があり、誤解されていることも多いのが現状です。
- ・本学の都市計画の研究者が、コンパクトシティについて市民向けの分かりやすい動画を作成し、その第一弾を Youtube にて公開しました。

持続可能な都市構造を実現するための手段にコンパクトシティ政策があり、いま全国の自治体で実施されています。岡山県内の自治体でも岡山市や倉敷市、津山市、高梁市など数多く取り組まれています。市民の方々の認知度や理解度はあまり高くありません。私は、2021 年 9 月に HP「氏原先生のコンパクトシティ講座」を立ち上げて、多くの方々に閲覧いただきました。今回、より視覚的に分かりやすく、かつ身近に感じてもらうために、動画を作成しました。

今回公開した動画のテーマは、「コンパクトシティってなあに？」です。今後も、コンパクトシティに関する動画を作成し、順次公開していく予定です。

◆研究者からのひとこと

都市計画は実学であり、研究成果を分かりやすく市民に伝えることをモットーにしています。少しでも多くのマスコミの皆様に取り上げてもらえると光栄です。



氏原 岳人 准教授



PRESS RELEASE

■発表内容

氏原先生のコンパクトシティ講座

<https://www.youtube.com/channel/UCBG5AqE87QJYqxnUATairaA>

1 限目：コンパクトシティってなあに？

<https://www.youtube.com/watch?v=kfV5bWDAwDo>

参考情報

氏原先生のコンパクトシティ講座 <https://c-city.jp/>

■補足・用語説明

コンパクトシティ：

「郊外のスプロールを抑制し、中心部や公共交通の主要駅周辺に都市機能を集約させた都市」のことをコンパクトシティといいます。

最も重要なことは、「スプロールを抑制し、低密度化をふせぐ」ことです。そのためには、都市にするとところ、しないところを明確にした上での計画的な都市づくりが必要です。また、都市の形にあわせて鉄道やバスの利便性を高めたり、自転車道や歩道を新設したり、渋滞緩和のための環状道路の整備も重要です。当たり前ですが、数年程度でできるものではなく、30年～50年という長いスパンで考えなければなりません。ある程度の人口密度を保つことで、スーパー、カフェ、パン屋、病院、学校などの施設が身近な場所に存続しやすくなり、新規出店の可能性も高まります。さらに、沿線人口が確保されることで公共交通機関も維持されやすくなります。

立地適正化計画：

持続可能な都市構造への再構築を目指すコンパクトシティを実現するためのマスタープランであり、市町村が必要に応じて策定する計画です。

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域

准教授 氏原 岳人

(電話番号) 086-251-8850

(FAX) 086-251-8850



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。